

番号	氏名	抱負
001	相川 良人	放射線技術に関して専門知識を持つ集団として、国民からの期待は年々大きくなってゆきます。学会員一人一人のレベルアップを行うため、教育及び研究を推進していく必要があります。個々の発展が組織全体の発展となってゆくものと考えております。 放射線技術学の進歩と発展にのため、会員のレベルの向上のため、学術的活動の機会を継続的に行っていけるように尽力していく所存です。
002	相田 雅道	現在、JSRTは研究活動の国際化や研究倫理への対応など、発展の礎となる改革が進んでいます。このような学会の発展のための変革を重要なポイントと考え、代議員としての役割を担うことができると考えております。また、医療情報分科会委員として活動しておりますので本分野の発展と、地域の学会活動を推進に尽力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
003	赤木 直樹	昨今の放射線技術は、装置の目覚ましい進歩の中日進月歩の状況にある。そのような中、職場、地域の技師の技術向上に少しでも役立つことが出来るようにお手伝いできればと思います。また、技師の社会的地位の向上のため、研究、臨床に努力していきたい。
004	赤沢 宏	平成14年度より関東支部の理事として活動しております。3.11福島原発事故後、国民の放射線への関心が高まり、現在でも放射線に対する議論が絶えません。放射線の知識がある我々が、どう国民を守っていくのか、どう信頼を得られるのか、今後も考えていく必要があると思います。微力ではありますが、会の運営に尽力したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
005	赤澤 博之	代議員の責務について、学会の重要事項を決定する定時総会に出席することはもちろん、公益法人として、会員・非会員の方々に対するサービスの提供も重要な使命と考えます。今回、これらの実務を担うべく代議員に立候補いたしました。自身の役割を十分に自覚し、学会が永続的に発展するための仕事をしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
006	秋田 和彦	現在、ますます高度・専門分化していく放射線技術の分野において、その専門家集団として、さらに医療、社会に貢献できる組織作りに協力したい。具体的には長年携わって来た放射線治療分野において、学会として先端技術の提供、世界に発信できる研究環境の整備などを行っていただけると考える。加えて、各施設の均てん化が図られるよう、具体的内容を盛り込んだセミナーの開催や叢書の発刊などで協力できればと考える。
007	秋田 富二代	
008	穂山 雄次	
009	浅賀 昭彦	医療技術は止まることなくシンボしています。より良くするために会員の皆様は日々努力されていると思います。この確立された技術は他の会員の皆様と共有することでより多くの患者様に還元されます。学会を通してより多くの会員の皆様と技術の交流を進めて技術の継承と均てん化に向けて努力していきたいと思っております。学会は皆様のすばらしい技術と熱い思いを広く発信出来る場でなければならぬと思っています。
010	朝原 正喜	私が所属する中国・四国部会では、技術学会会員の国際的な活動をより推進させるため、今年度より国際化推進委員会が組織されました。本部においても、以前より同様の活動が行われておりますので、その活動がより活性化するように協力させていただきますとともに、地方部会にもその恩恵が還元するよう努めたいと考えています。